

○ 団体が求められている役割

あいりん地域並びに周辺の居住者及び生活困窮者に対して、個々の利用者の意向を尊重して多様な医療・福祉サービスが総合的に提供されるよう創意工夫を行うとともに、個人の尊厳を保持したうえで自立した生活を地域社会で営むことができるよう支援を行い、地域住民の保健と福祉の増進に寄与するため、無料低額診療及び医療・福祉に関する相談支援等のサービスを総合的かつ一体的に提供する。これは民間部門に安定的にゆだねることが困難な行政施策であることから、団体が継続的に補完して代替機能を維持していく。

○ 求められている役割を果たすための取組み

あいりん地域の医療・福祉の充実に貢献するため、令和2年12月に移転開院した新病院において、合理的かつ効率的な病院経営に努めることで、一層の経営健全化を図りながら、経費削減によってサービス低下を招くことがないよう、病院が実施する取り組みの普及と啓発に努め、サービスを維持、向上させる。

○ 取組の具体的な目標

1 医療と福祉に関する相談及び啓発を実施する。

・指標 I：事業周知回数並びに会議開催回数及び参加回数

各種疾病、医療及び福祉に関する情報並びに実施している取組について地域広報紙での事業周知を行い啓発に努める。また、引き続きホームページでの医療に関する情報の提供などインターネットを活用するほか、新たに地域団体が作成する地元 PR アプリを活用するなど、周知活動の多角化を図る。

あわせて医療及び福祉を提供するうえで支援が困難であった事例について検討し、より良い支援につなげるとともに連携を強化するため、支援機関等との会議の主催や参加に取組む。なお、主催会議では新型コロナウイルス感染の動向も踏まえつつ定期的な開催に努め、地域の方々が出席する会議等に積極的に参加する。

さらに、ワクチン接種の機会を捉え、来院した医療従事者や接種者に同行している施設従事者へ、当院で安心して医療を受けられることの周知を図る。

支援機関等との会議の主催・参加回数

R 5 年度計画 (事業年度)	R 5 年計画 (市評価期間：1～12月)	R 4 年実績 (市評価期間：1～12月)
38 回	38 回	40 回

(内 訳)

項 目	R5 年度計画 (事業年度)	R5 年計画 (市評価期間 1～12 月)	R4 年実績 (市評価期間 1～12 月)
ほのぼの通信掲載	12 回	12 回	12 回
志水会開催	10 回	10 回	10 回
あいりんモデルケース会議の参加	6 回	6 回	2 回
地区担当者連絡会の開催	4 回	4 回	5 回
地域集会参加し新病院開院後の運営状況説明	5 回	5 回	9 回
その他(新型コロナウイルスワクチン接種時等)	1 回	1 回	2 回

・指標Ⅱ：医療相談会の開催回数

周辺機関と連携して、健康や医療に関する各種事例を医師及び看護師が参加者に説明する方法や疾病や健康に関する質問に個別に看護師が対応する方法により、必要に応じて医療及び福祉につなげる医療相談会を開催する。相談会実施の際は、新型コロナウイルス感染の動向も踏まえつつ実施に努める。また、活動確保のため新たに他団体主催の催しの機会を捉えて相談会を実施していく。

医療相談会等の開催回数(事業年度)

R5 年度計画 (事業年度)	R5 年計画 (市評価期間：1～12 月)	R4 年実績 (市評価期間：1～12 月)
15 回	15 回	15 回

(内 訳)

項目	R5 年度計画 (事業年度)	R5 年計画 (市評価期間 1～12 月)	R4 年実績 (市評価期間 1～12 月)
健康教室院外開催	3 回	3 回	9 回
ふれあい喫茶参加	8 回	8 回	1 回
その他(新型コロナウイルスワクチン接種時等)	4 回	4 回	5 回

2 医業収益の増加と病床の効率的な運用を図る。

・指標Ⅰ：医療事業収益額（無料低額診療等事業補助金収入を除く）

病院経営の基盤となる医業収益について、主に入院による収益を増加させることで全体の増加を図る。

また、10月からの療養病床の本格稼働に向け取り組み、既に稼働している訪問看護ステーションと連携を図り入院患者の確保により病院経営の安定に努める。

目標収益 1,410,776 千円 （R4 年度実績：1,591,785 千円）

・指標Ⅱ：病床利用率

入院による医療の提供を必要とする方に、様々な情報提供を適切に行い丁寧に対応することで、治療につなげて病床を効率的に運用し、稼働率を向上させる。

目標率 86.00% （R4 年度実績：80.12%）